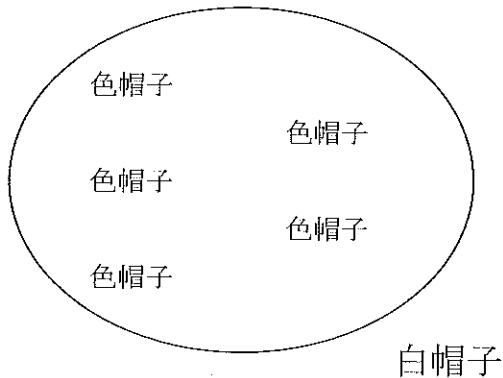


転がしゲーム *投げる(ころがす)、走る(小走り)、跳ねる

【環境図】 園庭

【導入・内容】

白帽子



導入;「ねずみさんのおうちにボールが転がってくるけど、逃げられるかな？」等話し、最初は教師が白帽子で、幼児が色帽子で始める。

内容

- ・ボールを1つ用意する。丸くラインをひき、色帽子の幼児を全員中に入るようにする。
- ・色帽子の幼児は丸のラインの中で、ボールに当たらないように逃げる。
- ・白帽子の教師は、丸のラインに入らないように、ボールを転がす。
- ・色帽子の幼児がボールに当たると、帽子の色を白に変更し、丸のラインの外に行き、ボールをころがす。

幼児が楽しんで取り組むための環境の工夫・教師の援助

○動き □心情 ☆人 ◇他

- 円の大きさを人数によって調節し、ボールから逃げる動きを十分に楽しめるようにする。
- ボールを転がす(投げない)ことで、どの幼児も安心して取り組めるようにする。
- 一人(もしくは数人)ボールに当たっていない人をチャンピオンと決め拍手をすることで、チャンピオンになりたいと目的をもって取り組めるようにする。
- ボールに当たる前と当たった後の動き(ルール)があることで、それぞれの目的をもって取り組めるようにする。
- ☆友達と一緒に声を出したり逃げたりしながら、ゲームのおもしろさやスリルを味わえるようにする。
- ☆チャンピオン同士ハイタッチをすることで、いろいろな友達と喜びを共有できるようにする。
- ☆教師も一緒に逃げたりボールを転がしたりしながら、対角線上にいるとボールから逃げやすい又はボールがもらいやすいことを経験しながら体得していき、友達の動きに気付けるようにする。